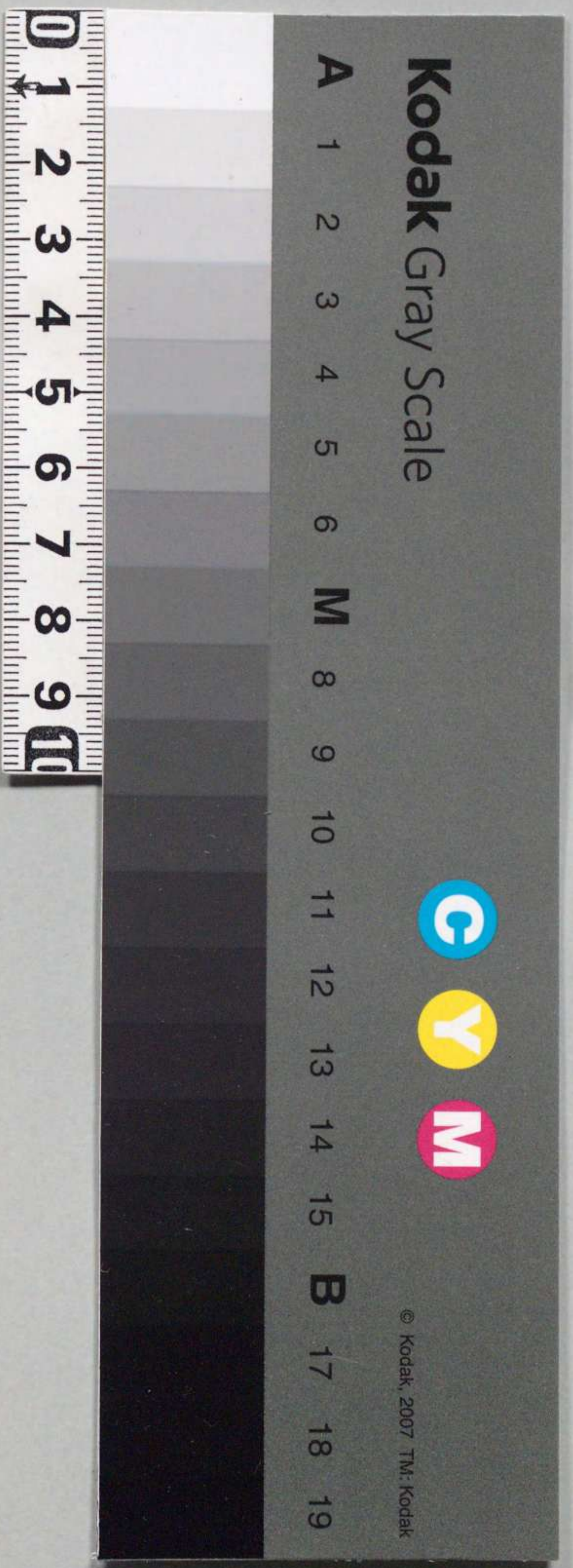
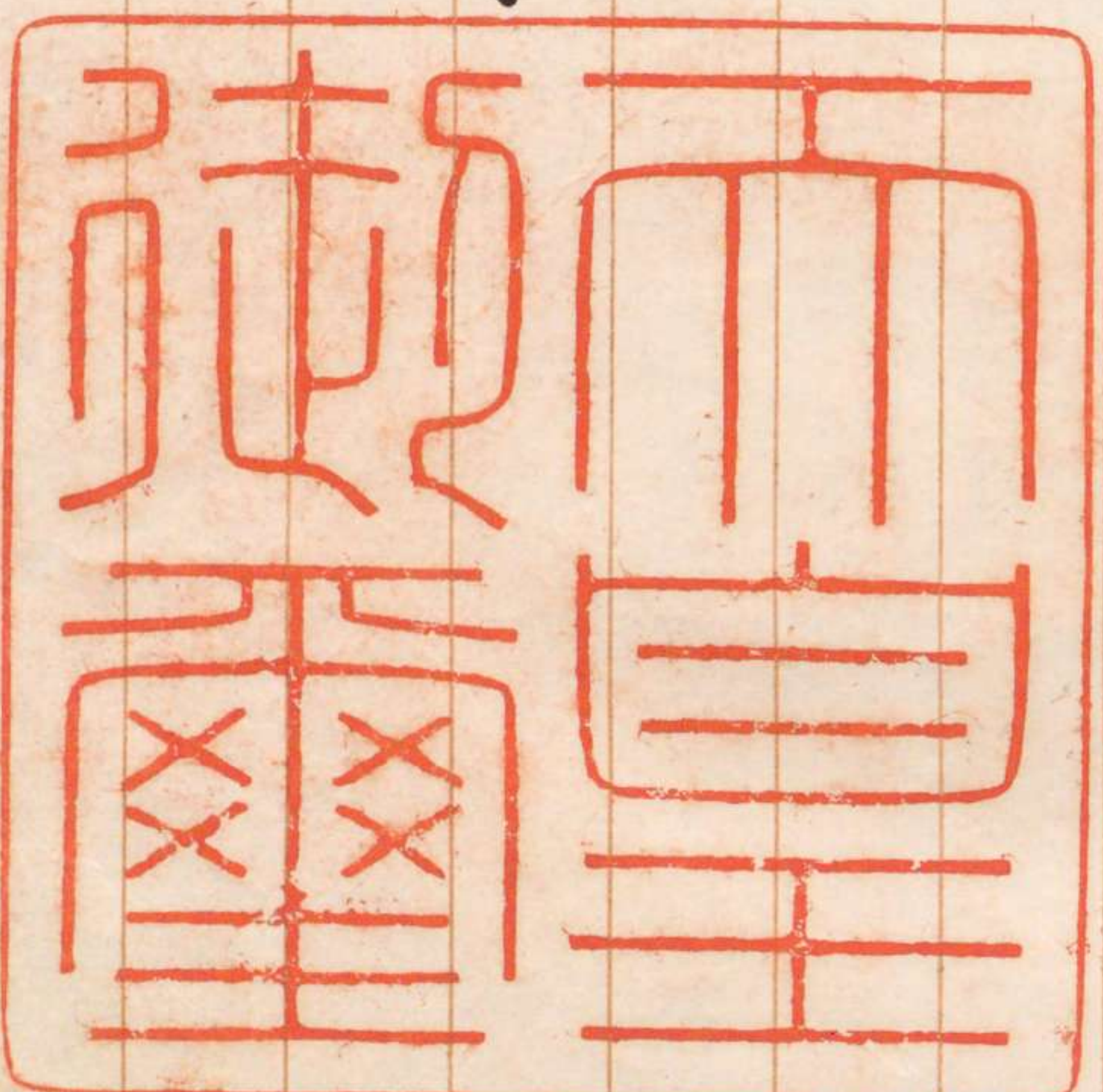


法律第一號



朕徴兵令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

睦仁



明治二十二年一月二十日

内閣總理大臣伯爵黒田清隆
陸軍大臣伯爵大山巖
海軍大臣伯爵西郷從道

法律第一號

徵兵令

第一章 總則

第一條 日本帝國臣民ニシテ滿十七歳
ヨリ滿四十歳迄ノ男子ハ總テ兵役ニ
服スルノ義務アルモノトス

第二條 兵役ハ分テ常備兵役後備兵役
及國民兵役トス

第三條 常備兵役ハ分テ現役及豫備役
トス

現役ハ陸軍ハ三箇年海軍ハ四箇年ニ
シテ滿二十歳ニ至リタル者之ニ服シ
豫備役ハ陸軍ハ四箇年海軍ハ三箇年
ニシテ現役ヲ終リタル者之ニ服ス
第四條 後備兵役ハ五箇年ニシテ常備
兵役ヲ終リタル者之ニ服ス
第五條 國民兵役ハ滿十七歳ヨリ滿四
十歳迄ノ者ニシテ常備兵役及後備兵
役ニ在ラサル者之ニ服ス
第六條 各兵役ノ期限既ニ滿ルト雖モ

戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時
ニ演習或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航
海中或ハ外國駐劄中ハ其期ヲ延スコトアル可シ
第七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ
兵役ニ服スルコトヲ許サス

第二章 服役

第八條 陸軍現役兵ハ毎年所要ノ人員ニ
應ジ壯丁ノ身材藝能職業ニ從ヒ步兵騎
兵砲兵工兵輜重兵職工及雜卒ニ區別シ
抽籤ノ法ニ依リ當籤者ヲ以テ之ニ充ツ

海軍現役兵ハ毎年所要ノ人員ニ應ニ
沿海地方及島嶼ノ壯丁ヲ調査シ海軍
ニ適スル職業ニ從ヒ水兵火夫職工及
雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ當籤ノ
者ヲ以テ之ニ充ツ但海軍志願兵徵募
規則ニ依リ服役スル者ハ本令限ニ在ラス
警備隊ヲ置キタル島嶼ノ壯丁ハ總テ
之ヲ警備隊ニ充テ其地ニ於テ服役セ
シム但在營期限ハ一箇年以内トス
第九條 雜卒ノ現役期限ハ其職務ニ因

リ之ヲ短縮スルコトアル可シ但常備
兵役ノ全期ハ之ヲ減スルコトナシ
第十條 二十歳ニ至ラスト雖モ滿十七歳
以上ノ者ハ志願ニ由リ現役ニ服スルコトヲ得
第十一條 滿十七歳以上滿二十六歳以
下ニシテ官立學校帝國大學及府
縣立師範學校中學校若クハ文部大臣
ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上
ト認メタル學校若クハ文部大臣ノ認可ヲ經ル
學則ニ依リ法律學政治學理財學ヲ教授スル私立

學校ノ卒業證書ヲ所持シ若クハ陸軍
試験委員ノ試験ニ及第シ服役中食料
被服装具等ノ費用ヲ自辨スル者ハ志
願ニ由リ一箇年間陸軍現役ニ服スル
コトヲ得但費用ノ全額ヲ自辨シ能ハ
サルノ證アル者ニ其幾部ヲ官給スルコトアル可シ
前項ノ一年志願兵ハ特別ノ教育ヲ授
ケ現役満期ノ後二箇年間豫備役ニ五
箇年間後備役ニ服セシム
満十七歳以上二十六歳以下ニシテ官立府

縣立師範學校ノ卒業者ハ六箇月間陸軍現
役ニ服スルコトヲ得其服役中ノ費用ハ當該
學校ヨリ之ヲ辨償スルモノトス

前項志願兵ニシテ現役ヲ終リタル者ハ七
箇年間豫備役ニ服シ三箇年間後備役ニ服ス

第十二條 禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ
賭博犯ニ由リ懲罰ニ處セラレタル者
ハ一年志願兵タルコトヲ許サス

第十三條 現役中殊ニ勤務ニ熟シ品行方
正ナル者ハ歸休ヲ命スルコトアル可シ

第十四條 豫備兵ハ戰時若クハ事變ニ
際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎年一
度六十日以内勤務演習ノ為メ之ヲ召
集シ又毎年一度簡閲點呼ヲ為ス
第十五條 後備兵ハ戰時若クハ事變ニ
際シ豫備兵ニ次テ之ヲ召集ス平常ニ
在テ勤務演習及簡閲點呼ヲ為スコト
豫備兵ニ同シ

第十六條 國民兵ハ戰時若クハ事變ニ
際シ後備兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要ス

ルトキニ限り之ヲ召集ス

第三章 免役延期及猶豫

第十七條 兵役ヲ免スルハ廢疾又ハ不
具等ニシテ徴兵検査規則ニ照シ兵役
ニ堪ヘサル者ニ限ル

第十八條 左ニ掲クル者ハ徴集ヲ延期
ス次年ニ於テ仍ホ徴集ニ適セサル者
ハ國民兵役ニ服セシム

第一 體格完全且强壮ナルモ身幹
未タ定尺ニ滿タサル者

第二 疾病中又ハ病後ニシテ勞役
ニ堪ヘサル者

第十九條 公權ノ剝奪若クハ停止ヲ附
加ス可キ重輕罪ノ為メ訊問若クハ拘
留中ノ者ハ徵集ヲ延期ス

第二十條 徵集ニ應スルトキハ其家族
自活シ能ハサルノ確證アル者ハ本人
ノ願ニ由リ徵集ヲ延期ス其事故三箇
年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ國民
兵役ニ服セシム但分家又ハ絶家

廢家再興ノ故ヲ以テ本條ニ當ル者
其他自活シ能ハサル事故ヲ作為シタ
ル者ハ其願ヲ許可セス

第二十一條 第十一條ニ掲クル學校ニ
在校ノ者ハ本人ノ願ニ由リ滿二十六
歳迄徵集ヲ猶豫ス其事故滿二十六歳
迄ニ止ミ又ハ二十六歳ヲ過クルモ仍
ホ止マサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシ
テ之ヲ徵集ス但第十一條ニ依リ一年
志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラズ

學術修業ノ為メ外國ニ寄留スル者ハ
本人ノ願ニ由リ満二十六歳迄徴集ヲ
猶豫ス二十六歳迄ニ歸朝シ又ハ二十
六歳ヲ過キ歸朝スル者ハ抽籤ノ法ニ
依ラスシテ之ヲ徴集ス但陸軍試験委
員ノ試験ニ及第シタル者ハ一年志願
兵ヲ志願スルコトヲ得

第二十二條 餘人ヲ以テ代フ可カラサ
ル職務ヲ奉スル官吏及市町村長助役
及收入役ハ豫備兵ニ在ルト後備兵ニ

在ルトヲ

為メ召集

法律ヲ以テ

立シタル議會ノ議員其

開會中亦同

第四音

豫備徴員

第二十三條

籤番號ノ順序ニ從ヒ毎

年所要ノ月

兵員ニ超過スル壯丁ハ

一箇年間

起算ス豫備徴員トシ戰

時若クハ事變ニ際シ

兵員ヲ要スルト

キ又ハ其年徴集ノ兵員缺クルトキ之



學術修業ノ為メ外國ニ寄留スル者ハ
本人ノ願ニ由リ満二十六歳迄徴集ヲ
猶豫ス二十歳迄ニ歸朝シ又ハ二十
六歳ヲ過キ朝スル者ハ抽籤ノ法ニ
依ラスシテヲ徴集ス但陸軍試験委
員ノ試験ニ第ニタル者ハ一年志願
兵ヲ志願ス

第二十二條

人ヲ以テ代フ可カラサ
ル職務ヲ
及收入得
吏及市町村長助役
ニ在ルト後備兵ニ



在ルトヲ問ハス勤務演習簡閲點呼ノ
為メ召集スルコトナシ
法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員其
開會中亦同シ

第四章 豫備徴員

第二十三條

抽籤番號ノ順序ニ從ヒ毎
年所要ノ現役兵員ニ超過スル壯丁ハ
一箇年間ヨリ十二月一日起算ス豫備徴員トシ戰
時若クハ事變ニ際シ兵員ヲ要スルト
キ又ハ其年徴集ノ兵員缺クルトキ之

ヲ徴集ス

第二十四條

豫備徴員ニシテ其期限内

ニ徴集セサル者ハ國民兵役ニ服セシ

△

第五章 雜則

第二十五條

毎年一月ヨリ十二月迄ニ

満二十歳ト為ル者ハ其年ノ一月一日ヨリ

同月三十一日迄ニ書面ヲ以テ_{非戸主ニ}

_{主者ヨリ}本籍ノ

市町村長ニ届出可シ

但二十歳未満ニシテ現役ヲ終ヘ

タル者又ハ現役中ノ者ハ本條ノ届出
ヲ為スニ及ハス

第二十六條

徴集ハ本籍所在ノ徴募區

ニ於テスルヲ例トス他ノ徴募區ニ寄

留スル者ハ願ニ由リ其區ニ於テ徴集

ニ應スルコトヲ得

第二十七條

疾病又ハ犯罪等ノ為メ期

限ニ際シ入營ニ難キ者ハ翌年之ヲ徴

集ス

第二十八條

兵役ヲ免レニカ為メ身體

ヲ毀傷シ疾病ヲ作為シ其他詐偽ノ所
為ヲ用ヒ又ハ逃亡若クハ潜匿シタル
者又ハ正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ
受ケサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ
之ヲ徵集ス

第二十九條 現役年期ノ計算ハ總テ其
入營スル年ノ十二月一日ヨリ起算シ
豫備役及後備役年期ノ計算ハ其轉役
スル年ノ十二月一日ヨリ起算ス第六
條ニ依リ延期シタル者モ其起算法亦

同シ但禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ監視
ニ付セラレ又ハ逃亡若クハ失踪シタ
ル者其刑期中及逃亡失踪中ノ日數ハ
服役年期ニ算入セス

第六章 罰則

第三十條 第二十五條ノ屈出ヲ為サ、
ル者及正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ
受ケサル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ
罰金ニ處ス

第三十一條 兵役ヲ免レニカ為メ逃亡

シ又ハ潜匿シ若クハ身體ヲ毀傷シ疾
病ヲ作為シ其他詐偽ノ所為ヲ用ヒタ
ル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ
處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附
加ス

第七章 附則

第三十二條 本令ハ明治二十二年一月
ヨリ施行ス但第二十五條ノ屆出期限
ハ明治二十二年ニ限リ三月一日ヨリ
同月十五日迄トス

第三十三條 本令ハ北海道ニ於テ函館
江差福山ヲ除クノ外及沖繩縣并東京
府管下小笠原島ニハ當分ニ之ヲ施行セ
ス

第三十四條 本令中市町村長トアルハ
市制町村制ヲ實施スル迄ノ間戸長ノ
コトトス

第三十五條 舊令第十一條ニ依リ一箇
年間陸軍現役ニ服シタル者ハ本令第
十一條ニ照シ二箇年間豫備役ニ五箇

年間後備役ニ服セシメ其豫備役二箇年ヲ終リタル者ハ直ニ後備役ニ服セシメ通シテ七箇年トス

第三十六條 舊令第十七條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十七條 舊令第十八條第二項ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止

マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十八條 舊令第十八條第七項及第二十一條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十九條 舊令第十八條第三項ノ生徒ニシテ第一豫備徵員ト爲リ仍ホ在校ノ者ハ該徵員タルコトヲ止メ滿二十七歳迄徵集ヲ猶豫シ其事故二十七

歳ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國
民兵役ニ服セシム

第四十條 第三十六條第三十七條第三
十八條及第三十九條ニ掲クル者其事故
各其本條ノ期限内ニ止ミタルトキハ
抽籤ノ法ニ依リ徵集ス但一年志願兵
ヲ志願スルコトヲ得

第四十一條 舊令第十八條第三項若ク
ハ第十九條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シ在
校ノ者ハ其事故六箇年以内ニ止ミタ

ルトキ又ハ六箇年ヲ過クルモ仍ホ止
マサルトキハ抽籤ノ法ニ依リ徵集ス
但一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得

第四十二條 舊令第三十條ニ依リ補充
員ト為リタル者ハ之ヲ豫備徵員トナ
シ一箇年間^{明治二十一年一月一日起算}ニ徵集
セサル者ハ國民兵服ニ服セシム

第四十三條 舊令第三十一條ニ依リ第
一豫備徵員ト為リ在校セサル者及舊
令第三十二條ニ依リ第二豫備徵員ト

為リタル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシ
ル補充員ヨリ第一豫備徵員ト為リタ
ル者亦同シ

第四十四條 明治十二年第四十六號布
告徵兵令ニ依リ國民軍ノ外免役又ハ
平時免役若クハ徵集猶豫ニ屬シタル
者ハ直ニ國民兵役ニ服セシム

第四十五條 舊令第八條ニ依リ海軍兵
ト為リタル者ノ服役期限ハ同令第三
條及第四條ニ依ル

第四十六條 第三十六條第三十七條第
三十八條ニ掲クル徵集延期ノ者及第
三十九條第四十一條ニ掲クル徵集猶
豫ノ者其事故各其本條ノ期限内ニ止
ミタルトキハ三日以内ニ本籍ノ市町
村長ニ届出可シ

前項ノ届出ヲ為サル者及本令施行
前舊令第三十五條第三十六條ノ届出
ヲ為サスシテ本令施行後ニ於テ發覺
スル者ハ本令第三十條ニ依リ處分ス

可
レ

内

陽